

JaSST'24 Kansai

テクノロジーセッション

クライアントサイドの新卒2年目QAによる 事例マッピング実践事例 ～課題マシマシなScrumとの闘い～

株式会社ベリサーブ

西日本事業部 産業システム課

寺田 智哉

自己紹介

- 氏名：寺田 智哉（てらだ ともや）

- 経歴：

- ▶ 2023年4月～：株式会社ベリサーブ新卒入社

- ▶ 2023年8月～：現場配属（機械設備制御機器のテスト業務）

- ▶ 2024年1月～：転属（社内向けWebアプリのテスト業務）

上長は某ソフトウェアテストシンポジウムの実行委員長

- 保有資格：JSTQB FL、応用情報技術者

- 趣味：猫と戯れる、カラオケ、ゲーム、…



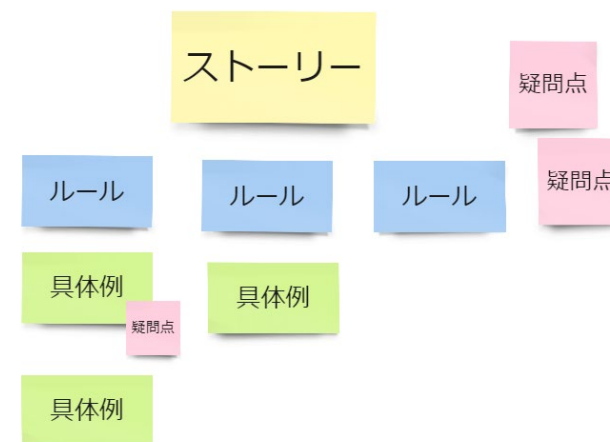
本日の内容

ScrumでのWebアプリ開発における受け入れテスト設計に
実例マッピングを用いた事例を紹介、
新卒2年目QAの視点から感じたことを共有



“実例マッピング”とは

- 開発者がユーザーストーリー作成前に行う、受け入れ基準を明確にして確認するための会話をより「シンプルかつローテク」に行う手法^[1]
 - ▶ プランニングポーカー、仕様擦り合わせMTG、…
- 受け入れ基準などを付箋で洗い出し、仕様確認で疑問を減らす
 - ▶ ストーリー(機能など)：黄色
 - ▶ 受け入れ基準や既知のルール(仕様)：青色
 - ▶ ルールの具体例：緑色
 - ▶ 疑問点：赤色



実例マッピング導入のきっかけ

- 社内用Webアプリ開発(受け入れは日本、開発は海外)
- 開発期間は約4カ月、2週間スプリントのScrum
 - ▶ 課題1：アジャイル開発に対する受け入れの知見が無かった
 - ▶ 課題2：開発側にもQAは存在するが、あまり機能していない
 - ▶ 課題3：ユーザーストーリーが洗練されていない
 - ▶ …

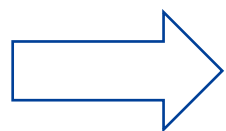


本来不具合が出ないはずの受け入れテストで
不具合が多発しそう…



課題マシマシをスクナメにするQA戦略

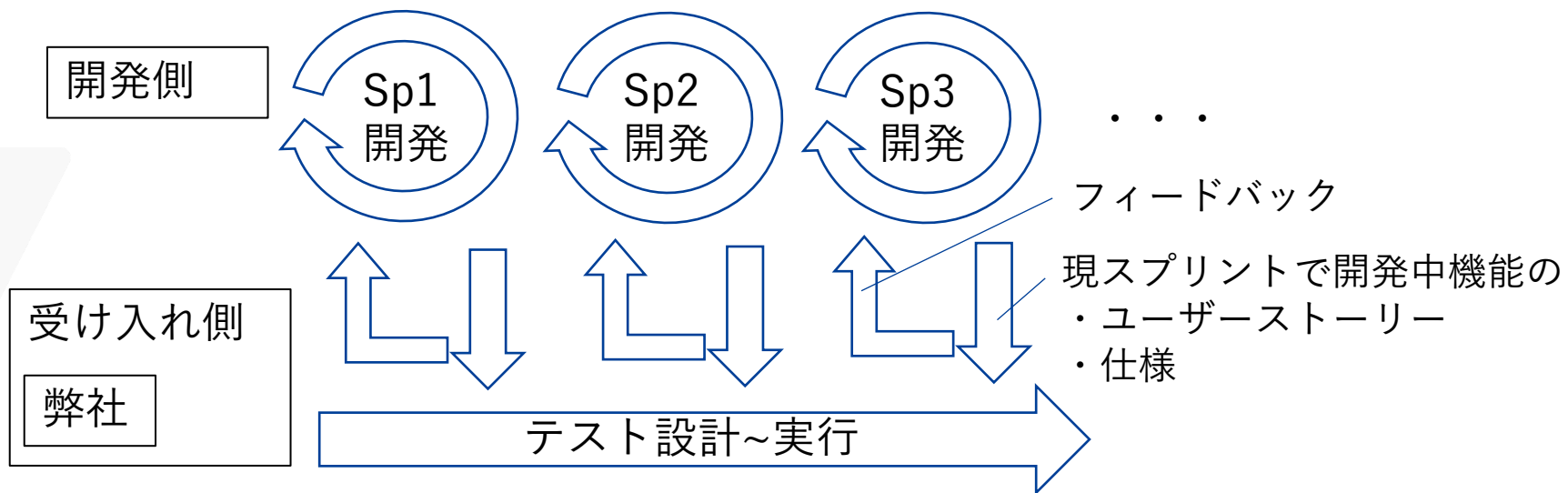
- 開発側に早くフィードバックを与えたい



Scrumに追従したテストサイクルを構築

⇒ユーザーストーリーを分析・フィードバックしつつ

(自動/手動問わず)テスト設計~実行を早く回していく

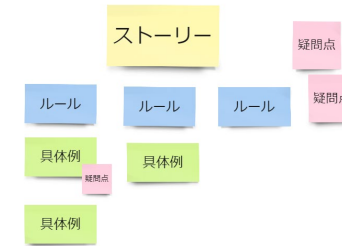


ユーザーストーリーを分析するためのアプローチ

- 徐々に固まってくるユーザーストーリーに
QAの視点を盛り込むために実例マッピングを用いる
 - ▶ 実際のテストをイメージし、テスト観点から具体例(≒テストケース)を作成
 - ・ 入力する文字種は？文字列の長さは？
 - ・ 他機能と同時に実行した場合の挙動は？
 - ・ 同時操作や割り込み操作時の挙動は？
 - ・
 - ・
 - ・
- ▶ テストの手法で仕様の品質を向上させる
- ▶ テストケースの実施方針(自動/手動)決定



作成した実例マッピングの構成要素と具体例



開発側から提供

ユーザーストーリーマッピングの STEPS(ユーザーが行う手順)

ユーザーストーリーマッピングの DETAILS(細かい動作)

ユーザー作成

画面内リンクをクリック、ユーザーページに移動

[ユーザー作成]をクリック、作成フォームを開く

受け入れシナリオ

要件

関連する具体例や疑問点をひも付ける

具体例

疑問点

管理権限ユーザーが、ユーザー増加に伴いユーザーを追加したい

解決した疑問点 = 次ルールへ

管理権限ユーザーのみがユーザー作成の画面に到達できなければならない

有効なユーザーを作成できなければならない

条件：管理権限ユーザーでログイン中

- ・アプリ内のリンクをクリック
- ・ユーザーページのURLを入力
- ・ブックマークをクリック

結果：ユーザーページに遷移する

作成フォームに直接つながるリンク、URLは存在する？

管理権限ユーザー以外がURL入力したらどう表示される？

実践する中で感じたこと

- 品質向上に寄与できた実感あり
 - ▶ 疑問点のフィードバックで仕様明確化が進んだ点はプロジェクトリーダーから評価
- 特に序盤スプリントでユーザーストーリーからルール(仕様)、具体例(テストケース)を出すのが想定よりも困難
 - ▶ 実例マッピングについての経験、知識不足
 - ▶ 大き過ぎず小さ過ぎずのスコープ選定が大事そう
- 受け入れ基準が不明確な状態でテスト観点をインプットに用いると“受け入れテスト”としてどこまでテストするか判断に迷う
 - ▶ 受け入れテストよりもシステムテストに近い具体例が多くなった
 - ▶ リリース時の品質を開発側と合意しながらテストの粒度の調整する必要あり

これから実例マッピングを始めるあなたへ

- ユーザーストーリーからルール、具体例を出すのが想定よりも困難

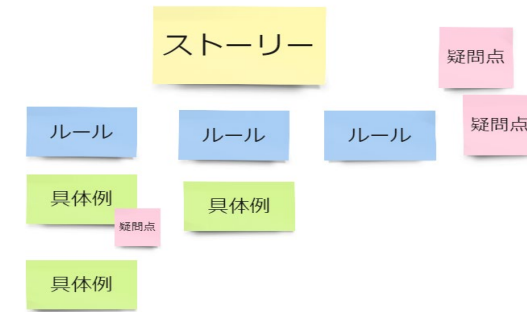
⇒ QAとして様々なプロジェクトに参画、
仕様を類推する力を身に付けるべし

- ▶ 過去分析を整理してテストコンテナ化、モブワークで経験を学ぶ、...

- 受け入れ基準が不明確な状態でテスト観点をインプットに用いると
“受け入れテスト”としてどこまでテストするかの判断に迷う

⇒ 要件定義時に用いるよう開発側にプッシュ、QAとして参画
実装の具体的イメージ・挙動を開発側と認識共有すべし

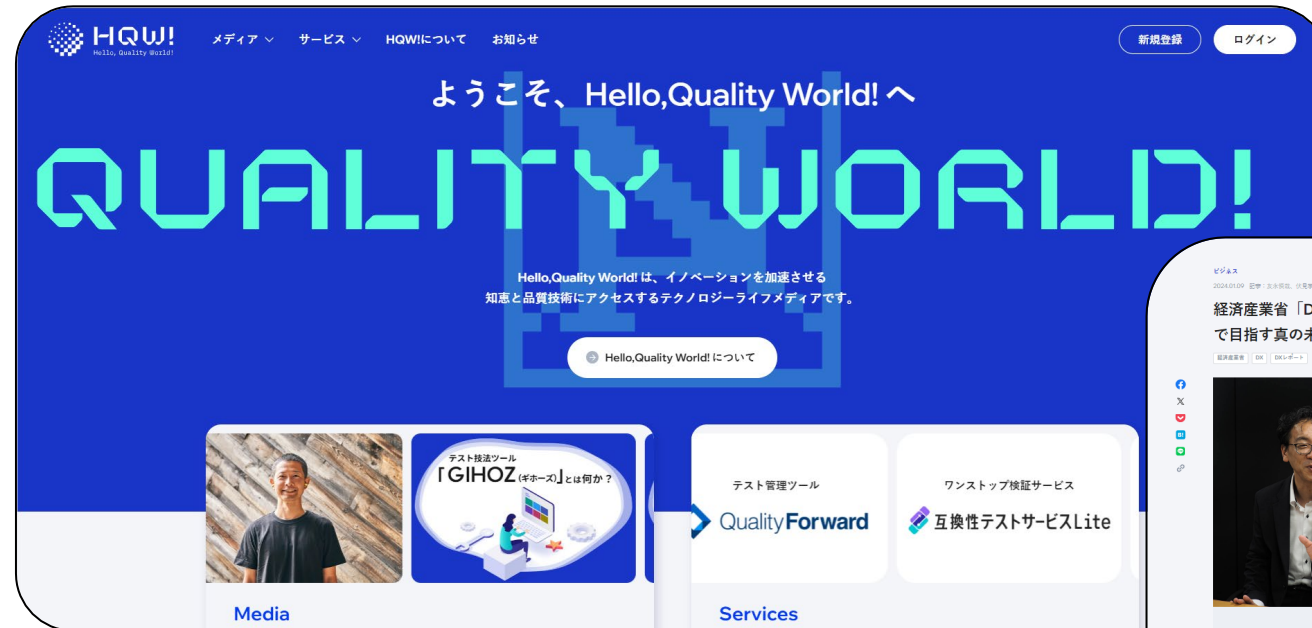
まとめ



- 実例マッピングとは
「受け入れ基準明確化のためのシンプル&ローテクな手法」
 - ▶ 機能、仕様、具体例、疑問点を記載、疑問点を仕様、具体例に変える
- ユーザーストーリー分析、受け入れテスト設計に活用
 - ▶ 新卒2年目QAでもモブワークで上長の知見も得つつ実践できた
- 仕様固め(品質向上)に効果があった一方、
QAとして要件定義時に用いるよう働きかけることが大事

当社サービスのご案内(1/2) 「Hello, Quality World!」

イノベーションを加速させる知恵と品質技術を全ての人へ。会員登録すると全ての記事をご覧ください。また、ベリサーブが提供する品質技術ツールの無料体験もできます。



2024年1月公開!



ハロキュー

見積もりや請求までがクラウド上で行えます!



会員登録するとQualityForward/GIHOZのフリープランが使用可能



当社サービスのご案内(1/2) 「Hello, Quality World!」

HQW!
Webサイトはこちら



当社サービスのご案内(2/2)

ソフトウェア開発の上流から下流まで、QCD向上をサポートします

開発プロセス

要件
定義

基本
設計

詳細
設計

実装

コンポー
ネントテスト

統合
テスト

システム
テスト

受け入れ
テスト

ドメイン

- ・オートモーティブ
- ・組込み機器
- ・産業システム
- ・エンタープライズ
- ・Webサービス
- ・パッケージソフトウェア
- ・アミューズメント など

プロジェクトマネジメント

- ・プロジェクト計画
- ・PMO
- ・品質管理
- ・進捗管理
- ・構成管理
- ・変更管理
- ・欠陥マネジメント
- ・トレーサビリティ など

ConTrack

サイバーセキュリティ

- ・セキュリティコンサルティング
- ・脅威分析
- ・セキュア設計
- ・脆弱性診断
- ・ソースコード解析
- ・OSSリスク管理
- ・PSIRT など

ソフトウェア品質

- ・ソフトウェア品質コンサルティング
- ・プロセス改善
- ・要件定義
- ・文書品質
- ・品質要求
- ・メトリクス
- ・欠陥傾向分析 など

テスト
プロセス

テスト
計画

テスト
分析

テスト
設計

テスト
実装

テスト
実行

テスト
完了

テストのモニタリングとコントロール

- ・テストコンサルティング
- ・テストプロセス改善
- ・テストプロセス診断
- ・テストマネジメント
- ・テスト標準化
- ・テストドキュメント
- ・機能テスト
- ・セキュリティテスト
- ・性能テスト
- ・負荷テスト
- ・相互運用性テスト
- ・モデルベースドテスト
- ・テスト技法
- ・テスト環境構築
- ・テストデータ作成
- ・探索的テスト
- ・テスト自動化
- ・テスト観点
- ・テストアーキテクチャ など

QualityForward

GIHOZ

参考文献

[1] nihonbuson, ブロッコリーのブログ 【翻訳記事+ α 】 受け入れ基準の設定時などに役立つプラクティス「実例マッピング (Example Mapping)」, 入手先
<https://nihonbuson.hatenadiary.jp/entry/ExampleMapping> (参照 2024-05-30)



Let's enjoy “Example Mapping”!!!

株式会社ベリサーブ

広報・マーケティング部

[< vs.marketing@veriserve.co.jp >](mailto:vs.marketing@veriserve.co.jp)

TEL : 050-3640-8194

東京都千代田区神田三崎町3-1-16

神保町北東急ビル 9F